

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会

第 33 回会合議事要旨

日時：2019 年 12 月 13 日（金）13:30～17:30

場所：電中研大手町本部 NRRC 大会議室

出席者：

委員：阿部（主査）、成宮（副主査）、中村（幹事）、小野田、楠木、小谷、佐々木、濱崎、橋本、美原、廣内、村松、染谷（千年委員代理）、三浦（白石委員代理） 14 名出席

（欠席）千年、中村、原口、山本、渡邊

常時参加者：宇井、小城、諏訪、友澤、西村、藤崎、松永、小原（長江常時参加者代理）7 名出席

議事：（発言者敬称略）

議事に先立ち、定足数及び配布資料の確認を行った。

議題 1 前回議事録の確認

<要旨>

中村幹事より、資料 P10SC33-1 に基づき、前回議事録要旨（案）の概要版について説明があり、修正なく承認された。

<主な議論>

特になし。

議題 2 人事案件

<要旨>

中村幹事より、資料 P10SC33-2 に基づき、委員及び常時参加者の選任が承認された。

- ・委員の選任：廣内 崇幸
- ・委員の所属変更：濱崎 亮一
- ・常時参加者の選任：三浦 拓馬

<主な議論>

特になし。

議題 3 津波レベル 2PRA に関する知見調査の進め方について

<要旨>

中村幹事より、資料 P10SC33-3-1 に基づき、レベル 2PRA 標準への津波 PRA を取り込んでいくに当たって、知見調査の進め方の方針案が示された。具体的には、STEP1 として新知見か否かを判断し、STEP2 にてレベル 2PRA 標準へに反映するか否か、STEP3 にて標準への反映方法を検討していく、また、レベル 2PRA に影響がない場合はその内容を外的事象 PRA 分科会に取り次ぐという進め方である。

議題 4 津波レベル 2PRA の課題整理

<要旨>

資料 PC10SC33-3-4 を用いて、各担当者から課題整理の結果を概説した。

議題 5 レベル 2PRA 標準と米国標準・欧州技術ガイドとの比較作業

<要旨>

中村幹事より、資料 P10SC33-3-1 及び P10SC33-3-2 に基づいて、調査の対象とその分担案が示された。箇条 6～8 の負担が大きいことが予想されることから、複数の委員を調査担当者に割り当て、協力を求めた。

濱崎委員より 33-3-4, 美原委員より 33-3-5 資料を用いて、調査結果の報告がなされた。

議題 6 標準策定 5 ヶ年計画について

<要旨>

成宮幹事より、資料 P10SC33-4 を用いて、標準策定の新知見の優先度判定に関する説明がなされた。

議題 7 PRA の階層化の意義について

成宮副主査より、資料 33-5 を用いて、PRA 標準の階層化の意義について説明がなされた。

議題 8 レベル 2PRA 標準の英訳作業について

中村幹事より、資料 33-6 を用いて、今後 JCNRM 等によるレビューを受けるために、英語版の作成の方針案についての説明がなされた。

その他

・次回分科会は 2 月 13 日(木)13:30 からとなった。

以上